【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2007-227141(P2007-227141A)
【公開日】平成19年9月6日(2007.9.6)
【年通号数】公開・登録公報2007-034
【出願番号】特願2006-46588(P2006-46588)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ　13/04　(2006.01)
Ｈ０１Ｒ　 4/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｒ　12/22　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ　13/04　Ｂ
Ｈ０１Ｒ　13/04　Ｚ
Ｈ０１Ｒ　 4/02　Ｚ
Ｈ０１Ｒ　23/68　Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コネクタ内に突出した接続端子の後部をコネクタ外に引き出して基板上の回路に接続する接続端子を用いた基板用コネクタにおいて、前記接続端子は１枚の導電性金属条片を基材とし、前記コネクタ内に突出した相手側接続端子との接続端は前記条片を折り重ねて断面略四角状に形成し、前記コネクタの外部に引き出した導電部分は前記条片を折り重ねることなくその端部を前記基板上の回路に接続したことを特徴とする基板用コネクタの端子構造。
【請求項２】
前記端部は前記基板の回路に半田付けにより接続したことを特徴とする請求項１に記載の基板用コネクタの端子構造。
【請求項３】
前記端部に孔部を形成し、該孔部に溶着用半田チップを取り付けたことを特徴とする請求項１又は２に記載の基板用コネクタの端子構造。
【請求項４】
前記接続端の先端を錐状に形成したことを特徴とする請求項１～３の何れか１つの請求項に記載の基板用コネクタの端子構造。